

各事業者 御中



【DSG】

次期DSG要求整理要約資料

2026/8/21

Contents

	Page
01	はじめに 1.次期DSG検討の背景とビジョン..... 03
02	As-Is To-Be 2.次期DSGのサービス拡充イメージ..... 04
03	次期DSG運用開始時の姿 3-1.次期DSG運用開始時の姿..... 05 3-2.次期DSG概要図 06
Appendix	提供サービス一覧..... 08-10 主なユースケース..... 11-15

1.次期DSG検討の背景とビジョン

防衛セキュリティゲートウェイ（Defense Security Gateway）

次期DSG 検討の背景

- ・ 防衛装備品の調達に際し、防衛省・防衛関連企業間では、契約に基づき発生する保護すべき情報を含む多くのデータを安全かつ効率的に共有するニーズが高まっていた。
- ・ 従来は紙媒体の搬送により情報共有を図っていたが、企業・調達担当官双方にとって大きな負担であった。
- ・ 防衛関連企業においても防衛事業の割合は高くないため社内で大きな投資が認められにくく、特に中小企業にとってセキュアなシステムの整備は、高度な専門知識と費用面の両面で大きな負担であった。
- ・ こうした状況が防衛調達への参画の妨げとなる可能性があったことから、DSGのサービス提供に至った。
- ・ DSGのサービス開始により、セキュリティが担保された官民間のデータ共有が実現された。一方、さらなる利用拡大に向けた利便性の向上が求められている。
- ・ 加えて、計画段階で想定した利用者数と実際の利用者数との乖離により、費用対効果の観点からも改善が必要となっている。
- ・ 次期DSGにおいては、セキュリティを維持しつつ、さらなる利便性の向上と、利用状況に応じた柔軟なリソース確保による運用費用の最適化が求められている。

Vision 1

容易且つ利便性の高い DSGの提供

中小企業を含む防衛関連企業と防衛省に対して、
保護すべき情報を安全且つ効率的に共有できる環境を、
容易且つ利便性の高い形で提供し、
防衛関連企業のサイバーセキュリティ強化を実現していく

Vision 2

拡張 / 拡大 / 拡充による DSGの発展

中小企業含む防衛関連企業に対し、
特約付き契約の期間や取扱情報の区分に限らない
契約へとつながる情報を安全且つ効率的に共有できる環境や、
関連する業務の支援サービスを提供することにより、
利用者の拡大、利用領域の拡張、サービスの拡充により、
防衛関連企業のサイバーセキュリティ強化や
防衛調達の参画推進を実現していく

これ以降の情報については、「次期防衛セキュリティゲートウェイの調達仕様書の案に対する意見招請」をご一読いただき、6項の問合せ先までご連絡ください。